

河川・排水機場など被災施設の復旧状況

1-1 河川の復旧状況【総括】

令和4年1月31日現在

管理者	河川名	地区	箇所数	進捗状況 (R3.10.31)	進捗状況 (R4.1.31)	備考
国	千曲川	長沼穂保(復旧)	1	完了	完了	決壊箇所の復旧延長140m
		長沼穂保(強化)	1	完了	完了	上記箇所の上下流 420m
		篠ノ井塩崎(復旧)	1	完了	完了	軻良根古神社付近
		篠ノ井塩崎(強化)	1	完了	完了	R4.1月末から宅地側堤防のり面のコンクリート被覆工事に着手
県	浅川	豊野	4	完了	完了	別工事で河道内の土砂撤去を実施中
	三念沢	豊野	1	完了	完了	
	赤野田川	若穂	3	完了	完了	
	保科川	若穂	4	完了	完了	
	蛭川	松代	1	完了	完了	
	神田川	松代	1	完了	完了	
	藤沢川	松代	1	完了	完了	
	岡田川	篠ノ井	1	完了	完了	
	聖川	信更	3	完了	完了	
	犀川	信更	1	完了	完了	
市	高岡川	若穂	1	90%	完了	
	唐沢川	若穂	1	完了	完了	
	銅山川	松代	1	完了	完了	

1 - 2 千曲川堤防強化（立ヶ花～村山橋）の進捗状況

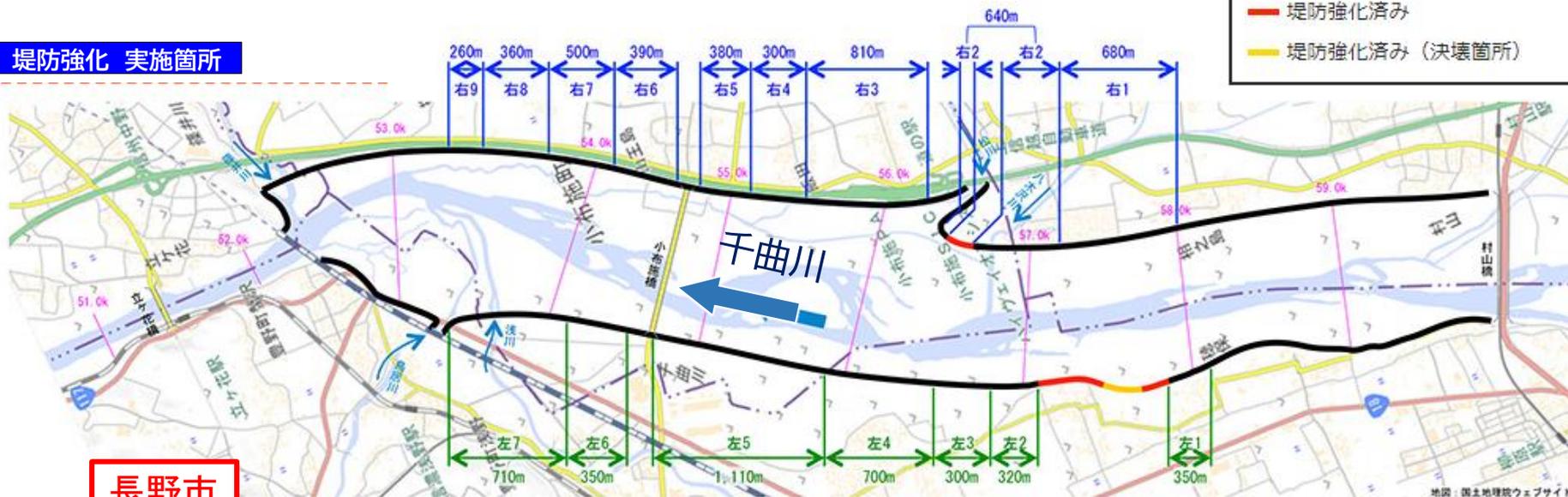
資料提供:千曲川河川事務所

○立ヶ花狭窄部によるせき上げ影響区間となる「立ヶ花～村山橋」の有堤区間について、堤防強化対策を実施中

凡例

- 堤防強化箇所
- 堤防強化済み
- 堤防強化済み（決壊箇所）

堤防強化 実施箇所



長野市

左岸側の工事 2

記号	工事名	工事の状況	施工箇所
左4	赤沼地区堤防強化工事	工事中	川表
左5	飯田地区（左岸）堤防強化工事	工事中	川表
左6	吉島地区堤防強化その1工事	工事中	川表
左7	吉島地区堤防強化その2工事	工事中	川表

左岸側の工事 1

記号	工事名	工事の状況	施工箇所
左1	千曲川穂保地区堤防強化工事	工事中	川表・川裏
左2	千曲川津野地区堤防強化工事	工事中	川表・川裏
左3	千曲川赤沼地区堤防強化工事	工事中	川表・川裏

左 1

千曲川穂保地区堤防強化工事

受注者 株式会社 加賀田組
場所 長野県長野市穂保地先
工期 令和3年7月1日～令和4年2月25日

現場代理人・主任(監理)技術者からのコメント

12月は、川表の工事範囲内にある立木の伐採を行い、敷鉄板による工事用道路を作る作業を行いました。工事用道路の築造により農道の通行形態が変わりご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。1月は、川表側の堤防のり面を掘削する作業を開始します。掘削作業では、ダンプトラックにより土砂を運搬する作業が伴います。引続き、交通災害、第三者災害の防止に努め無事故・無災害での完成を目指し工事を進めていきます。



現在の進捗率
 令和3年12月31日(時点)

現在の進捗状況

R3堤防強化工事【左1】

令和3年12月現在
 *準備工: 工事範囲内の立木伐採作業を行いました。
 *仮設工: 川表(堤外地)において工事用道路を築造しています。



下流より上流を望む



上流より下流を望む

左 2

千曲川津野地区堤防強化工事

受注者 株式会社 浅沼組
場所 長野県長野市津野地先
工期 令和3年3月30日～令和4年2月25日

現場代理人・主任(監理)技術者からのコメント

川表の基礎ブロック及び遮水シートまでの作業が6割完了し、大型ブロック積みの作業に移行しました。例年になく積雪が多いため思うようにブロック積みの進捗が伸びていませんが、人員を増やして対策を講じようとしています。川裏側についても、1月下旬か2月上旬に着手する予定です。それに伴い、当工区にある川裏の坂路も使用できなくなります。大変ご迷惑をお掛けしますが、ご協力願います。引続き第三者災害を発生させないように努めて作業を行います。作業中は、近隣住民の皆様方には、大変ご迷惑をお掛けすることになるとは思いますが、ご理解とご協力をお願い致します。



現在の進捗率
 令和3年12月31日(時点)

現在の進捗状況

R3堤防強化工事【左2】

令和3年12月末現在、川表側の基礎ブロックの施工が約200m完了し、法面の大型ブロック積みに着手しました。1月11日より当工区にある川表の坂路部分の掘削作業に入りますので、坂路の通行が出来なくなります。2月から当工区にある川裏にある坂路部分も着手する予定です。



令和3年 12月撮影



令和3年 12月撮影

左 3

千曲川赤沼地区堤防強化工事

受注者 株式会社 植木組
場所 長野県長野市赤沼地先
工期 令和3年7月1日～令和4年2月25日

現場代理人・主任(監理)技術者からのコメント

謹んで新年のお祝い申し上げます。
 当工事は『信濃川水系緊急治水対策プロジェクト』の一環として実施する堤防強化工事で、赤沼地区を当社が担当させていただきます。
 12月中旬より表土の剥取りを行い掘削作業を行っています。
 今後は大型ブロックの基礎を設置し、順次作業を進めていきます。
 また1月中を目処に川表側の坂路の撤去も行います。地域の皆様にはご不便をお掛けしますが、連絡を密に行い、細心の注意を払って安全作業に努めますのでよろしくお願い致します。



現在の進捗状況

R3堤防強化工事[左3]

令和3年12月末時点、川表側の工事用道路が完了し本格的に堤防工事を開始致しました。現在は川表側の既設構造物を撤去し、掘削作業を行っております。100m程の掘削が完了しましたら順次ブロックの基礎を設置して行きます。

左 4

赤沼地区堤防強化工事

受注者 中信建設 株式会社
場所 長野県長野市赤沼地先
工期 令和3年7月1日～令和4年2月25日

現場代理人・主任(監理)技術者からのコメント

12月より堤防道路上で法面の掘削作業を行っています。
 大型車両が堤防道路上を頻繁に通行します。
 作業分離、通行案内等の安全管理を徹底し、通行車両との接触事故が起これぬよう、努める所存です。
 また、1月からはコンクリート二次製品などの工事車両の往来も増えて参りますので、地域住民の皆様におかれましては、農作業等に向かわれる際、十分注意を払い通行していただくよう、お願いいたします。



起点より終点を望む



終点より起点を望む

現在の進捗状況

R3堤防強化工事[左4]

- 河川内の高水敷に敷鉄板を敷き詰め、工事用道路を設置しています。予定数量590枚のうち440枚の敷設が完了しました。
- 法覆護岸工(大型連節ブロック部)の掘削作業を進めています。

1-4 遊水地の整備

- 令和元年東日本台風に対する治水対策として、直轄管理区間において、5箇所の遊水地整備を予定。
- 令和6年度(若しくは令和9年度)までの遊水地事業完成を目指す。



- ・塩崎遊水地については、R3.11月に住民・地権者を対象とした説明会を開催
- ・現在は、計画地内の地権者へ用地・物件の補償等に関する意向調査を本市が実施中

2-1 浅川の堆積土砂撤去(県管理河川)

- ・R3年11月までに青線の区間約7860mで堆積土砂を撤去
- ・今年度事業で大道橋から浅川橋間も含め、赤線の区間約2,750mを実施 全体延長で約10.6km

浅川



土砂撤去作業の状況(R3.8月)



土砂撤去完了後の状況



・被災した県管理河川において、適切な河道維持のための堆積土砂の撤去を実施中

岡田川

計画延長 859m



聖川

計画延長 1,221m



蛭川

計画延長 894m



神田川

計画延長 1,155m



保科川

計画延長 1,757m



赤野田川

計画延長 1,040m



【総括】

令和4年1月31日現在

管理者	施設名	所在地	ポンプ能力	進捗状況(%) (R3.10.31)	進捗状況(%) (R4.1.31)	ポンプ能力 復旧率	備考
長野平 土地改良区 (市へ管理委託)	浅川第一排水機場	小布施町	14.0 m ³ /s	85%	90%	0% (仮設ポンプ撤去につき)	R4.3月本稼働予定
	浅川第二排水機場	小布施町	30.0 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	長沼排水機場	長沼	16.5 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
市	大道橋排水機場	豊野	0.2 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	赤沼雨水ポンプ場	長沼	1.8 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	三念沢雨水ポンプ場	豊野	1.36 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	沖雨水ポンプ場	豊野	3.66 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働
	小森第一排水機場	篠ノ井	17.0 m ³ /s	100%	100%	100%	本稼働

※ポンプ能力復旧率：仮設備による復旧を含めた従前のポンプ能力に対する復旧率

浅川第一排水機場



・排水機場の復旧工事は、機械類の設置工事を進めている。令和4年3月の本稼働を予定

【低水管理の効果】

ため池の貯水位を下げ、空き容量を確保することにより、降雨時の流入を一時的に貯留させ、河川の流出量を抑制

浅川大池（総貯留量29万 m^3 ）

低水位管理中の様子



14万4千 m^3

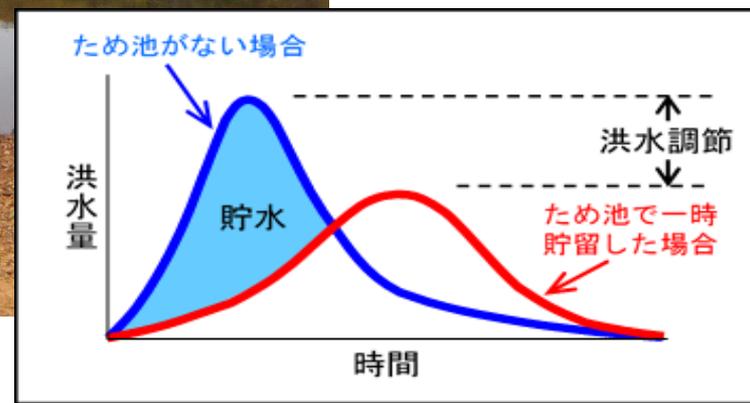
満水位

低水位

一時貯留量

河川のピーク流量を抑制

ため池の洪水調節イメージ



実施状況と今後の予定

- ・令和3年度（低水位管理業務委託の締結） ⇒ ため池16箇所、合計約46万 m^3 の貯留量を見込み
⇒ 実績報告では10箇所、合計42.5万 m^3 の低水位管理による貯留量
- ・令和4年度～ ⇒ 流域治水として引続きため池管理者の協力のもと低水位管理を継続予定